松永製菓の「シルコッテ」が完成

小牧市に新工場兼店舗、あすオープン

テープカット

シルコッテ外観

松永製菓（愛知県小牧市、松永邦裕社長）が愛知県小牧市西之島で建設を進めてきた新工場兼店舗「SHIRUKOTTE」（シルコッテ）が完成し、6日に開業を迎える。4日に現地でテープカットと内覧会が行われた。設計・施工はスペース（東京都中央区、佐々木靖浩社長）が担当した。

シルコッテの規模はS造2階建て延べ約1320平方㍍。設計期間は2023年1月～24年6月。24年1月に着工し、8月に完成した。

外観はれんが風タイルとガラス、アクセントカラーにグリーンを使ったモダンなデザインで、和洋折衷をコンセプトにした商品のパッケージとの調和を図った。内部は一部を吹き抜けとすることで開放感や居心地の良さを創出。カフェスペースや商品の製造工程を見学できるスペース、地域のコミュニティー活動や食育講座などに活用できる多目的ルームも備える。施設の名前は松永製菓の代表商品「しるこサンド」などから付けた。

設計・施工はスペース

4日は松永社長や山下史守朗市長、佐々木社長、小川産業の安岡悦二郎社長が出席。テープカットで新施設の完成・開業を祝った。

あいさつで松永社長は「シルコッテを新しいチャレンジのシンボルとし、新商品の開発などを進めたい」、山下市長は「食育活動など市との連携に感謝する。今後もおいしいお菓子を届けてほしい」、佐々木社長は「素晴らしい事業に携わることができ誇りに思う」と話した。